

めぶき東アジアレポート

MEBUKI EAST ASIA REPORT

Shanghai / Hong Kong / Taiwan

2023年4月号

【 香 港 通 信 】 飲食店の香港進出について	1
【東アジア駐在員コラム】 幼稚園での「婦人節」	3
【 ニューストピックス】 2023年2月～3月の動き	3
【 めぶきFGアジアネットワークのご紹介 】	4

常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路2201号
上海国際貿易中心1901室
TEL : +86-21-6209-0258
E-mail : joyosh@uninet.org

足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway
Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK
TEL : +852-2251-9475
E-mai : hongkongrep@ashikagabk.com.hk

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部



【香港通信】

～飲食店の香港進出について～

香港は、世界中で最も日本食が親しまれている国や地域の一つと言われており、外食業界においても多くの日系企業が進出しています。今回は、飲食店が香港市場へ進出する際の留意点などについて、レポートいたします。

1. 香港における日本料理店

香港に多くの日本料理店が登場し始めたのは、2000年代初頭とされています。その頃、香港で日本旅行がブームとなり、日本で本場の日本料理を食べた香港の人々が、香港に戻ってから日常的に日本食を求めるようになり、日系チェーンなどの日本料理店の人気が高まりました。

近年では、香港にある飲食店約16,720店のうち、日本料理店は約1,350店であり、日本料理店は中華料理店に次いで数の多いジャンルとなっています。このことから、香港での日本食人気の高さが伺えますが、反対に言えば、日本料理店同士の競争も激しく、香港での成功には他社との明確な差別化が必要であると考えられます。

【2021年香港飲食店業種別シェア】

飲食業種別	店舗数	シェア
香港式喫茶店	2,270	13.6%
中華料理店	2,030	12.1%
日本料理店	1,350	8.1%
コーヒー店	680	4.1%
タイ料理店	370	2.2%
イタリア料理店	230	1.4%
韓国料理店	200	1.2%
ベトナム料理店	170	1.0%
フランス料理店	100	0.6%
その他	9,320	55.7%
合計	16,720	100.0%

<出所：ジェットロ発表資料を基に筆者作成>

2. 香港市場への進出について

(1) 香港市場の主なメリット・デメリット

日系企業にとって、香港市場進出における主な優位性や留意すべき点は、下記事項が考えられます。

【メリット①】 アジア市場展開のハブ	香港には世界中から多くの人種や民族が集まっており、進出する飲食店にとって香港は自社のショーケースとして機能する。香港での成功をきっかけに、中国や東南アジアなどに展開するケースも少なくない。
【メリット②】 高度な物流インフラ	香港は、日本から「デイ・ゼロ輸送」 ¹ が可能であり、新鮮さが求められる飲食業界においては、店舗で使用できる食材の選択肢が広がる。
【デメリット①】 不動産賃料の高さ	香港の賃料は世界で最も高い水準にあり、高額な賃料支払いに耐えうるビジネスモデルや、適切な出店地域の検討などが必須。
【デメリット②】 激しい競争と顧客特性	香港の人々は「熱しやすく冷めやすい」性格で、かつ香港には世界各国の飲食店との競合が存在するため、継続的に来店させる工夫が必要となる。

(2) 主な進出形態

香港への進出においては、主に以下の進出形態が選択肢となります。

形態	独立経営	フランチャイズ (FC)
概要	自ら新会社を設立し、ライセンス取得や店舗の賃借、運営を自社で行う。	FC契約の基、自社の商号や経営ノウハウなどを提供し、香港のパートナーが投資・業務遂行を担う。
メリット	経営を自らコントロールでき、独自の事業計画やブランドの確立が可能。	自己資金投入を抑制できる。短期間での事業拡大が見込まれる。
デメリット	多くの資金、経営資源を要するため、リスクが大きい。	経営コントロールを失い、ブランド低下やノウハウ模倣などのリスクが存在する。

3. 日系企業の進出事例

香港進出済みの代表的な日系企業と、その取り組み内容についてご紹介いたします。

(1) FOOD & LIFE COMPANIES HONG KONG LIMITED 【進出形態：独立経営】

進出年	2019年	店舗数	15店舗以上
業態	「スシロー」で香港に進出。開店以来、連日行列が出来るほどの人気を誇る。2022年8月には、海外初進出となる居酒屋業態「杉玉」を香港に出店。		
特徴	・香港は「コメを食べる文化」があり、「日本食人気・人口密度・外食頻度」がいずれも高く、寿司業態との相性が良いと判断し出店。 ・独立経営につき、物件選定や人材採用まで全て自社で実施。香港市場の特性から「顧客を飽きさせない」工夫に徹底的にこだわり、毎月フェアメニューなどを提供。 ・2021年9月に広州に中国1号店を出店。香港との経営ノウハウや物流の共有など運営効率を重視し、香港と物理的に距離の近い広州や深圳において事業を拡大。		

(2) Toridoll Holding Limited 【進出形態：フランチャイズ⇒独立経営に切替え】

進出年	2013年	店舗数	10店舗以上
業態	「丸亀製麺」で香港に進出。日本店舗と同様にセルフ方式、オープンキッチンで商品を提供。主にショッピングモールや商業ビルに出店。		
特徴	・香港に進出当初は、香港のWell Core LimitedとFC契約を結び、フランチャイジーが中心となって事業を拡大させた。その後2022年に、更なる事業効率化やサービス向上のため、合弁会社を買収して直営に切り替えた。 ・2018年に香港地場の麺チェーンを買収し、シンガポールや日本へも展開。香港への進出をきっかけに、日本国内の事業拡大に繋がったケースとなった。		

4. ビジネスチャンスと留意点

最近では、2022年10月にコメダ珈琲がFCにより香港1号店を出店し話題になりましたが、大手だけでなく中小企業でも、日本国内で優れた商品やサービスを提供する飲食店は、香港の企業・投資家の注目を集める可能性があり、実際にFCの形態で香港に進出した日系企業もありました。

前述の通り、香港には既に数多くの日本料理店が存在しますが、香港の事業者と話を見ると、新たな日系企業の進出ニーズは根強く、「まだ香港では知られていないが、日本では実績や知名度の高いお店」などが、今後も求められているようです。背景には、香港のコロナ規制が完全に撤廃されたことで、今後香港を訪れる観光客が増加し、それとともに香港の日本料理店の需要が高まる期待感が含まれています。

中小企業の進出においては、香港の高い家賃や人件費をはじめから自社で負担するのはリスクが高いことから、FCによる進出が合理的な選択肢であると考えられます。その際に最も重要なことは、信頼できるフランチャイジーを見極めることです。FCには、ブランドイメージ低下や経営ノウハウ流出などのリスクが伴うため、フランチャイジーの経営・財務状況、現地での評判や実力などを事前によく確認する必要があります。



<香港に進出した日系企業（筆者撮影）>

～おわりに～

2023年はコロナの収束により、香港の企業や投資家が海外出張や展示会などを通じて、各国のブランドを目にする機会が増え、今後香港の外食業界は活発化していくと考えられます。当事務所では、今後も情報収集および発信に努めてまいりますので、ご照会がございましたらお気軽にお問い合わせください。

（足利銀行香港駐在員事務所 山田太郎）

1 物流においてリードタイムを指す。「デイ・ゼロ」は当日配送のこと。香港は物流インフラが発達しており、例えば日本の豊洲市場で朝方に仕入れた水産品を午前中に空輸で発送し、夕方に香港到着、当日夜にはレストラン等での提供が可能。

－幼稚園での「婦人節」－

3月8日の「婦人節」は中国の女性にとって嬉しい一日です。日本ではあまりなじみのない中国の祝日ですが、中国では女性に感謝を表す日として年々重要度が増しています。婦人節が始まった当初は、女性社員は半日休み、会社での食事会などが主流でしたが、近年では豪華なギフト券や日帰り旅行、といった福利厚生を提供する企業も出てきています。また、最近「婦人節」は「女神節」、「女王節」にグレードアップされ、ネット販売も女性関連消費で盛り上がるなど、女性経済の活性化につながっています。



<婦人節 幼稚園入口の飾り物>

今年、私は子供の幼稚園の「婦人節」イベントに招待されました。粘土、折り紙等を使ったオリジナルの花束が用意されたほか、子供たちは絵を描いたり綺麗なクラウンと指輪を作ったりして、ママを祝福しました。また、うちの子が私にハンドクリームを塗りながら、無邪気な声で「ハッピーウィミンズデイ」を歌ってくれました。コロナのため入園以来初めての親子の催しでもあったので、とても感動しました。ささやかな婦人節ではありましたが、ママにとっては幸せ、子供にとっては有意義な一日でした。

(常陽銀行上海駐在員事務所 現地スタッフ 続蘇蘇)

ニューストピックス

- ・都市人口の増加鈍る、昨年は42年ぶり低水準 (2/16)
- ・チャットGPT技術に注目、科技省がAI支援 (2/27)
- ・23年の物流総額5.5～6.5%増へ、需要回復で (2/27)
- ・自動車市場は3月に正常化、消費券が追い (2/28)
- ・日本が対中国の水際対策緩和、3月1日から (2/28)
- ・米企業75%「今年中国で再投資」、団体調査 (3/1)
- ・中国企業の海外M&A、22年は過去最低＝E Y (3/1)
- ・2月の製造業PMI、約11年ぶり高水準 (3/2)
- ・半導体設計業が苦境期に、需要の峠越え鮮明 (3/2)
- ・今年のGDP目標、5%前後～過去最低、足元好調で達成容易か～ (3/6)
- ・雲南省が再び電力使用制限～水力発電低下、他地域波及に懸念～ (3/7)
- ・JAL、日中路線を大幅増便＝3～10月 (3/9)
- ・高齢者産業に巨額資金流入～市場規模21兆元へ、年10%超成長～ (3/10)
- ・各地で気温上昇、今夏に異常気象発生も (3/10)
- ・団体旅行の行き先40カ国増加、日本含まれず (3/13)
- ・新エネ事業M&A、22年は過去最多＝P w C (3/13)

(出所 NNA・亜州ビジネス)

めぶきFGアジアネットワークのご紹介

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア（インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行（インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク（ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁（ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行（フィリピン）		●	
インドステイト銀行（インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
パナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供 リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供 各種損害保険の提供
損害保険ジャパン	●	●	
三井住友海上火災保険	●	●	
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供 海外セキュリティーサービスの提供
総合警備保障	●		

常陽銀行 シンガポール駐在員事務所	10 Collyer Quay, #09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行 ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852

【アジア全域】

- 日本貿易保険、損害保険ジャパン、東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険によるリスクマネジメント
- NXグループ（旧日通）による物流サポート
- セコム、総合警備保障によるセキュリティコンサルティング
- 沼尻産業、ユーユーワールドによる輸出支援サービス
- アリババによる海外販路開拓サービス
- 国際協力銀行による中堅・中小企業海外事業安定化支援
- ハラル・ジャパン協会によるハラルに関するコンサルティング

【中国】

- 上海駐在員事務所によるサポート
- 香港駐在員事務所によるサポート
- 中国銀行、交通銀行による金融サービス提供

【台湾】

- 中国信託商業銀行による金融サービス提供

【ベトナム】

- ハノイ駐在員事務所によるサポート
- ヴィエティンバンク、ベトコム銀行による金融サービス提供
- ベトナム外国投資庁による各種情報提供

【フィリピン】

- BDOユニバンク、メトロポリタン銀行による金融サービス提供

【インド】

- インドステイト銀行による金融サービス提供

【タイ】

- バンコク駐在員事務所によるサポート
- カシコン銀行、バンコック銀行による金融サービス提供
- ジェイ・ウィル・グループによる進出支援

【インドネシア】

- バンクネガラインドネシア、CIMBニアガ銀行による金融サービス提供

【シンガポール】

- シンガポール駐在員事務所による同国および周辺諸国へのサポート